

令和6年度

確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ 学校力向上プラン【学校評価計画書】

中学校区におけるめざす子ども像 ● 地域を愛し、地域の良さを外に発信できる子 ● 校区で育ったことや経験を糧にして進路選択ができる ● 判断力・表現力を育むとともに、主体的に学習に取り組むことができる子	堺市立錦小学校 校長 井上 和明
---	--------------------------------------

2024年度 重点目標
【めざす子ども像】●自ら考え、よく学び、自信をもって活躍できること ●人とつながり、協働できること ●夢の実現に向けて、粘り強く努力することができること ●豊かな人権感覚を持ち、素直で明るく思いやりのある
【めざす学校像】◆楽しく学べる学校 ◆人権尊重の精神を基盤とし、高めあえる学校 ◆「チーム力」を発揮して子どもを育てる学校 ◆規律ある落ち着いた学校

確かな学びの現状 ○学習の基礎・基本の定着として、全学年で「自学ノート」を活用した家庭での自主学習が定着してきていることや、自身で課題を見つける行動や取り組み姿勢が見えてきている。 ○子どもたちの表現力向上に向けて、ペア・グループでの授業形態を多くとり、相手の意見を聞くことや自身の言葉で表現する力が身についてきている。 ○学年に応じてタブレットを活用した授業計画を策定し、子どもたちが主体的に学ぶ機会を多く創出できてきている。 ○学びのコンパス実現に向けた教師による授業計画の策定や子どもたちの積極的な授業への参画が重要	豊かな心・健やかな体の現状 【豊かな心】 □たてわり活動を通じて、子どもたち一人ひとりが、相手を思いやる気持ちや、助ける行動が多くみられる。 □道徳授業における課題を通して、自分の考えを持つ大切さやより良い生き方について学ぶ姿勢が見えている。 【健やかな体】 ◆運動の楽しさを実感できる体育の授業の実施や縄跳び・かけあし朝礼を通じて、子どもたちの運動能力向上につながっている。 ◆避難訓練を通じて、命を守る行動や災害に対する備えの重要性を理解している。
---	--

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組 ★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (～12月)	達成状況(年度末)				
								自己評価		学校関係者評価		
確かな学び	基礎・基本の定着	基本知識の習得、技能の定着 学習規律の定着	★グループの活動を通じて、傾聴力の向上、自己発信力の育成を図る。	アンケートにおいて肯定的な回答80%以上	学校教育アンケート実施報告	2・3学期	○	・対話の力を身に付けるための「話す・聞く」力の目標設定し取組んでいる。 ・宿題として自学ノートを週1回全学年で取組んでいる。	◎	・学校教育アンケートで「授業は分かりやすい」と95%の回答があった。 ・全学年で自学ノートを1年間取り組んできたが、「自分で決めた計画に沿って行えた」が54%で課題が残った。取り組むことはできているが、計画性や内容のサポートをしていく必要がある。	◎	・授業がわかりやすいは先生方の努力のたまものと考えます。 ・子どもたちが自学ノートを積極的に活用する動機を持たせることと、プロセスにおける支援が必要だと考えます。
			全学年で自学ノートに取り組み家庭での学習習慣の定着を図る。	週1回の自学ノート提出90%以上	実施報告	年度末	○		○			
	授業改善	主体的、対話的で深い学び タブレットを活用した能力の育成 授業の質の向上・研究授業 学びのコンパスの実現	★●ICTを活用し、子どもたちがわかりやすく、学びやすい環境づくりを推進する。	タブレット活用に関する児童アンケートにおいて肯定的な回答80%以上	実施報告	毎学期	○	・タブレットが活用できていない(37%)児童が多く、朝学習を活用してサポートする。 ・全職員が公開授業を行い、意見交換および授業改善を図った。 ・学習規律の見直し、子どもへの学びに着目した授業づくりを行った。	◎	・3年生以上にタイピングコンテストを実施し、楽しく活動ができた回答率が86%となった。全学年実施に向けて取組を改善していく。 ・全職員が公開授業を行い共有化を図った。 ・全学年で学習規律の重要性を理解し、授業開始前に準備すること、わからないこと・興味があることについて調べる、先生に聞くことが積極的にできるようになった。	○	・授業改善は難しい課題であり、子どもたちの基礎基本の定着を図ること、主体的な学びを深め、表現を身に付けることはハードルが高いと考えます。教員が子どもたちに対し、丁寧にサポートすることが求められると思います。
			研究授業や公開授業を通じて、授業手法の共有化および改善を図る。	全教員が年1回以上の公開授業の実施および意見交換会の実施	実施報告	年度末	○		○		○	
			●子どもたちが主体的に活動できる学級運営および発信する場の創出	授業計画の策定および結果報告	実施報告	年度末	○		○		○	
	豊かな心・健やかな体	豊かな心の育成	自尊感情を醸成し、自他ともに大切にする豊かな人間性を育成する	きらりサポート(異学年)交流を実施し、思いやりや周りを助ける力を身に付ける。	全学年で交流が実施できたか。	実施報告	年度末	○	・学校行事や学習活動に組み込んで「きらりサポート」を実施した。 ・道德の授業で、教科書やワークシートを活用して授業を行った。児童一人ひとり自分の生き方を見つけたことができた。 ・子どもたちが主体的に委員会・クラブ活動を行った。□	◎	・年間を通し、学校行事や学習活動に組み込んで「きらりサポート」を実施することができた。 ・教科書やワークシート等を活用して授業し、ふりかえりができた。	◎
●道德の授業を通じて、自分の考えを持つ大切さ、より良い生き方についての学びを深める。				実施報告	事前報告	年度末	○		◎	◎	◎	
●委員会・クラブ活動において、主体的かつ意欲的に取り組む姿勢を身に付ける。				活動報告の作成	活動報告	年度末	○		◎	◎	◎	
体力向上		運動に親しむ環境を整え、体力を向上させる	陸上競技やボール等を通じて、運動の楽しさを実感できる授業の展開をする。※縄跳び朝礼駆け足朝礼の実施	アンケートにおいて肯定的な回答80%以上	学校教育アンケート	年度末	○	・2学期になわとび朝礼を実施した。 ・自分のめあてを立てて体育に取り組んだ。 ・生活チェックをもとに指導啓発をした。	○	・なわとび朝礼・かけあし朝礼ともに意欲的に参加する児童が多かった。 ・保健指導・避難訓練は予定通り実施でき、無予告の避難訓練に対しても学校全体で冷静に対応することができた。	◎	・なわとび朝礼・かけあし朝礼は運動になじむきっかけとなったと思います。年間を通じて楽しいと思える運動競技も検討して欲しいと思います。
			●基礎体力の向上および適切な生活習慣を身に付ける。	アンケートにおいて、過年度との比較・分析し評価する。	アンケート	年度末	○		◎	○		
地域協働		信頼される学校	学校情報の積極的な発信と地域とともに歩む学校づくりを進める。	学校ホームページ、学校だよりを通じて教育活動の現状と成果の発信に努める。	学校ホームページの日次更新	実施報告	年度末	○	・HPを通じて子どもたちの学習の様子を発信した。(日次) ・地域で職業体験・見学を積極的に行った。 ・3年生を対象に金融教育(出前授業)を実施し、正しいお金の知識を習得した。	○	・ホームページを毎日更新し、錦っこだよりでも子どもたちの活動の様子や教育活動が伝わるように発信した。 ・地域の方々に伝えることができた。自分たちの校区の素晴らしさを表現することができた。 ・3年・6年生に金融教育を実施し、お金の大切さについて理解を深めることができた。(アンケート回答により90%が理解を深めた)	◎
	地域たんけん等を通じて、地域を知り、愛し、地域を誇れる子どもの育成を図る。			総合・生活等の学習で地域の良さを知る活動ができていたか。	実践報告	年度末	○		◎	◎		
	●金融教育を通じて、お金の大切さや経済の仕組みについて理解を深める。			アンケートにおいて肯定的な回答80%以上	アンケート	年度末	○		○	○		

校長より(年度末) 子どもたちが様々な場面で、自らが考え周りの仲間と協働する活動ができていた。特に、錦校区がどのような街であるか？どのような歴史があるのか？地域の方のお話や地域の会社・お店を訪問し調べ、理解を深めることができた。新たな取組として、子どもたちがタブレットを楽しく身近に感じられる取組としてタイピング活動をおこない成果があげられた。本校独自の取り組み「きらりサポート(たて割り活動)」を通じて、上級生が下級生のお世話をする気持ち、下級生が上級生を敬う気持ちが表れ、今後も積極的に実施をしていく。	学校関係者評価者から(年度末) 学校が子どもたちの成長のために具体的な取組を実施し改善を図っている様子がうかがえます。また、家庭や地域と連携を強め、3者で子どもたちの成長を見守っていることも強く感じられる1年でした。1年間の振り返りから、今後の取り組みを具現化していくうえで、校内での意思疎通や家庭・地域への発信を今後も継続して行ってください。
---	--